

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 各務原西高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和8年5月25日(月) 10:00~11:30
- 3 開催場所 各務原西高等学校 校長室
- 4 参加者
- | | | |
|-----|-------|--------------------|
| 会長 | 杉山 真魚 | 岐阜大学 教育学部 准教授 |
| 委員 | 奥村 篤 | 各務原市立那加中学校 校長 |
| | 古田 宏司 | 十六銀行 各務原支店 支店長 |
| | 小林 広和 | 各務原市産業活力部 商工振興課 課長 |
| | 石垣 時広 | 羽島市児童センター館長 |
| | 奥村 吉宏 | 本校同窓会会計 |
| | 津川 英俊 | 本校PTA会長 |
| 学校側 | 佐藤 尚史 | 校長 |
| | 前田 輝美 | 教頭 |
| | 佐橋 朋子 | 事務部長 |
| | 原 和幸 | 教務部長 |
| | 大野 広行 | 総務部長 |
| | 神山 元秀 | 生徒指導部長 |
| | 松原 由和 | 進路指導部長 |

5 会議の概要(協議事項)

(1) ICT活用について

意見1:あらゆる場面でAIが使われており、これからは仕事の仕方もICTによって大きく変わってくる。これからの生徒に必要な力は何か。

⇒生徒の主体性が重要である。自己指導力を育む機会を設けていきたい。

(2) 進路指導について

意見1:進路については選択肢が多く、生徒は情報も整理できないのではないかと。生徒が一人で考えることには限界があるので、生徒に対して進路情報について話してほしい。
⇒進路については外部講師を招いて何度か話をしてもらおう機会がある。アドバイスをもらい、個別に支援することもしている。

意見2:2040問題など予測しづらい状況の中で、自分で考えて判断する力が必要だ。興味の有無だけで進路を考えて良いのか、卒業後にどのような職業が必要とされるかを見極めつつ、生徒の適性を踏まえてキャリア教育を進める必要がある。

意見3:中高生の段階で自分に適した職業を見つけるのは難しいが、話をしっかり聞いて整理することができる人、コミュニケーション能力の高い人が社会では望まれる。部

活動でコミュニケーション能力を高められるとよい。

(3) 情報モラルについて

意見1：闇バイトやフェイクニュースなどへの対応はどのようになっているか。

⇒今年度は4月末に警察の方による情報モラル講話を実施した。また、昨年度末にも、生徒指導より闇バイトについて注意喚起をしている。

(4) その他

意見1：部活動遠征の方法はどのようになっているか。

⇒現地集合、現地解散を基本としているが、遠方の場合は貸切バス等を利用することもある。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。委員の方からいただいたご意見を参考に、生徒の主体性を育む教育活動をすすめる。